



学校だより

子どもの未来をみんなで創る

令和2年 7月号

神奈川県立相模原中央支援学校

緊急事態宣言が解除されてから1か月が過ぎました。以前よりも制限は緩やかになり、朝夕の通勤ラッシュや街の人々の生活がこれまでの姿に戻りつつあります。しかしながら、県内でも感染報告があり、まだまだ終息したわけではありません。With コロナ・After コロナを考えながら学校の教育活動を点検しています。現在も、時差登下校にすることや特別教室をホームルームに転用して、子ども達の物理的な接触・接近を極力避けるようにしています。毎日の検温・手洗い・マスク着用も定着してきています。ご家族の健康安全を含めて、今後ともご協力をお願いします。

さて、今年度は8/1(土)～8/23(日)の夏季休業を挟んで、8/30(日)までが1学期、8/31(月)～2学期となります。各学部の修学旅行は、延期して内容を縮小して再計画を検討しています。宿泊学習は残念ながら中止いたしました。また、すべての学部・教育部門でリモート学習の環境整備に取り組む予定です。今後も本校で学ぶ子ども達の命を感染から守ること、新しい学習形態の検証を進めます。ご協力をお願いします。



アマビエ
疫病退散

校長 鈴木善之(すずきよしゆき)

※夏休み後の登校初日は、8月24日(月)です。



スクールバスにおける感染予防対策



学校が再開し、新型コロナウイルス感染症を予防するために「新しい生活様式」を、日々検証しながら実施しています。今号では、スクールバスでの対策について紹介します。

- ① 座席の位置をなるべく一つ置きにして、前後が重ならないようにする。
- ② 席が近い場合には、間に安全対策を施したビニールシートやボードを設置する。
- ③ エアコンをかけていても対角線の位置の窓を開け、換気を常に行う。
- ④ 毎日車内清掃を行う。特に座面や窓、手すり等は次亜塩素酸ナトリウム薄め液でしっかりと拭き上げ、消毒を徹底する。
- ⑤ 毎日朝と乗車前に運転手・介助員は検温と体調の確認をし、悪い場合は勤務しない。
- ⑥ 利用する児童生徒の体調の確認を行う。乗車前に健康カードのチェックをする。

※保護者の皆様、毎朝ご協力くださり感謝いたします。お一人ずつ確認するため運行時刻に少し影響しておりますが、ご理解いただき心よりお礼申し上げます。

- ⑦ 座席にゆとりを持たせ、長時間の乗車による感染を防止するため、一部の児童生徒に対してタクシーを毎日4～6台活用する。または、自家用車による送迎をお願いする。

※保護者の皆様、こちらの取組にもご理解ご協力くださり本当にありがとうございます。

- ⑧ 新たに1台高等部知的部門用のマイクロバス(登校便)が6月15日から運行開始した。

これからも、3密に気をつけて安心して利用できるようバス会社と連携して参ります。通学支援チームを中心に改善に努めますので、どうぞよろしく申し上げます。

教頭 比留川